

総評

数学と理科が特に難しく、平均点は低くなりました。中2内容を中心に、中1内容も幅広く盛り込まれた出題で、形式も入試に近くなり、難しく感じた人もいられるかもしれません。

入試や道コンなどの試験は、基本事項の組み合わせでできています。難しく感じられる問題も、要素に分解すると教科書の基本内容に落としこむことができます。どんな要素から成り立っていたのかを地道に見直すことで、知識を活用するコツが身につきます。

2年生の秋・冬は、入試に向けての基礎固めとして非常に重要で、成績が急に下がってしまう人が多い時期です。2年生までの内容をしっかり固めてしまえば、今後の学習は非常にスムーズになります。入試へのスタートとして、1・2年の内容をしっかりまとめましょう。

国語

やや難しい出題でした。

㊦は、問二の得点率が低かったです。短歌の句切れは、「切れ字」もしくは大意の「。」があるところを見つけると分かります。見直しをしておきましょう。㊦、㊦、㊦は得点率が大幅に低くなるような問いはありませんでした。ただし、指定語句を使ったり、指定形式に合わせたりする記述問題では、指定語句の書き間違いや指定形式の不備が目立ちました。指定語句や指定形式を正確に書くことが大切です。ちょっとしたミスでの減点に注意しましょう。㊦は、全体的に難しかったようです。古文と漢文の書き下し文を組み合わせ、複数の題材による問題で、難しく感じた人が多かったようです。ただ、問一のような発言に「 」をつける問題は、本来できるはずの問題です。取りこぼしに注意しましょう。

数学

非常に難しい出題でした。

①問6の作図問題は得点率が伸びませんでした。30°、60°などの大きさの角の作図はよく使うので慣れましょう。問7は中2で学習する「確率」の基礎です。1年内容ですがしっかり押さえて今後の学習に備えましょう。

②問3は証明したい内容から逆算して、式を整理する形の見通しを立てましょう。③問2、問題文や表中の数値を読み取り、図などに落とし込んで整理しましょう。

④は関数と図形の融合問題でしたが、いずれも基本的な内容の組み合わせで答えを導けるものです。

⑤問1は「錯角」や「同位角」と平行線との関係が整理できていない人が多かったようです。今回の証明は、全文が書けるように練習し、3年生になる前に証明問題への苦手意識を取り除いておきましょう。

社会

標準的な難度の出題でした。

地理分野では、①問3、④問5、問7のような地図を使った問題の得点率が低くなりました。地理は、資料を使った問題が多く出題されますが、赤道が通る地域、鉱産資源が産出される場所、おもな国や県などの位置を覚えておくことも大切なので、地理の学習をする際には地図帳で場所を確認するように心がけましょう。

歴史分野では、⑥問3、⑦問3、⑧問1(2)の年代並べかえ問題や、⑧問5の文化に関する問題で得点率が低くなりました。どちらも苦手とする人が多い問題です。教科書や資料集などでしっかりと見直しをして、必要であればノートにまとめるなどして、時間をかけて知識を定着させるようにしてください。

理科

難しい出題でした。

①は、ばねに関する問題でした。語句解答の問1(2)を除き難しかったようです。特に問3は図や表の数値をもとに思考する、難度が高いものでした。②は、全体に得点率が低くなりました。どれも思考力が問われる問題で難しかったようです。③は、全体によくできていました。基本的な内容も多かったのも、間違えた人はしっかりと復習してください。④は、問3～5を間違えた人が多かったようです。実験結果から考察する問題で、思考力が問われる難しい出題でした。また、⑥問1(3)、問2(2)、⑦問1(2)、⑨問3(2)など、計算問題はどれも得点率が低くなりました。計算問題は難しいイメージがあるかもしれませんが、演習を重ねることで得点源にすることもできます。しっかりと対策しましょう。

英語

標準的な出題でした。今回間違えた問題は3年生になる前にしっかりと復習し、定着させておきましょう。

①のリスニング問題は、問1のような英文が1回しか読まれない問題で得点率が低くなりました。問題が読まれる前にイラストに目を通しておき、英文が読まれたあとにすぐに選択できるようにしましょう。

②では、問3の得点率が20.4%と低くなりました。不定詞の形が「to+動詞の原形」であることを理解していても、和文を英文にすることが難しかったようです。不定詞はこれから長文の中でもよく見かけるようになります。形と意味を合わせて理解するようにしましょう。

③では、問5の得点率が16.4%と低くなりました。空欄の後ろに主語と動詞が続いているので、接続詞が入ると考えられたかどうかポイントになりました。